

家畜取引スマート化推進支援事業

【令和5年度予算概算決定額 55（－）百万円】

<対策のポイント>

家畜市場における取引をスマート化することで、現地と遠隔でのハイブリッドによるせりを実現する等、利用者の増加・利便性向上や市場運営の省力化を図り、円滑な家畜流通を確保し、家畜市場を活性化する取組を支援します。

<事業目標>

- 家畜市場の活性化を通じた生産基盤の強化
- 市場利用者数の増加（5%以上〔事業実施後の翌年度まで〕）
- 市場運営に係る労働負担の削減（5%以上〔事業実施後の翌年度まで〕）

<事業の内容>

<事業イメージ>

- 家畜取引ネットワーク構築支援事業

家畜市場のネットワーク化



1. 家畜取引ネットワーク構築支援事業

家畜市場の通信環境を整備し、家畜市場同士をネットワーク化すること等により、遠隔地の家畜市場のせりに参加できる体制を構築する取組を支援します。

例：遠隔せりシステム、ライブ配信システム 等

2. 家畜取引電子化推進事業

紙でのやり取りが主体となっている家畜市場の取引伝票や取引情報等を電子交付可能とし、利用者の利便性の向上と家畜取引の効率化を図る取組を支援します。

例：電子帳票システム 等

3. 家畜市場運営省力化推進事業

出荷家畜の誘導等、家畜市場の運営を自動化・省力化する設備を導入し、家畜市場職員や利用者の労働負担を軽減する取組を支援します。

例：自動誘導システム、家畜監視システム 等

<事業の流れ>

